

令和6年9月6日

門信徒 各位

潮見寺門信徒会 会長 平国寛己

## 秋の永代経法要ご案内

朝夕の秋風が心地よく、過ごしやすい季節になりました。皆様方にはお変わりなくご健勝のことと存じます。

さて、下記の通り標記のご法要が勤修されます。この私は、あらゆるいのちによって支えられて生かさせられているという事実を気づかさせてくださる機会が仏縁であり、身近な方の死です。永代経法要はお互いの身近な先祖様を、菩提寺に於いて一同に集い、永代にご法要を勤修いたすものです。

仏様のお慈悲に遭い、肉親・知人の弔いをし、この私を仏法へと導いてくださるご縁に感謝申しあげ、何はさておき、聞法に、お寺に足をはこびましょう。

### 記

- 1.と き 令和6年10月26日(土) 午後1時から
- 2.おつとめ 大師影供作法
- 3.ご講師 長倉 伯博 先生 (松本町 善福寺)
- 4.その他 ご先祖様(還浄された方) 個々に永代経懇志をいたすことにより、永代に亡き方にご供養しましょう。

注意：本堂内の椅子は、可能な限り距離は取ってありますが、参拝者のマスク着用を推奨します。

最近発熱があった方、体調不良の方は、参拝をご遠慮ください。

- 
- ◇ 年末寺掃除・仏具みがき：11月23日(土) 午後2時から、役員と本年初盆を迎えられた家族、その他ご協力くださる方々で行います。ご無理のなきようご加勢ください。個々にはご通知しませんので、よろしく願いいたします。
  - ◇ “月のことば”を配布します。
  - ◇ 法要前の掃除・準備を法要当日10月26日8時より行います。お手伝い頂ける方はよろしく願いします。お聴聞させて頂くみなでご法要を作りましょう。

### <予告>

- 報恩講法要は 11月30日(土) 午後1時から、亀田信暁先生(綱津町 願生寺)を迎えて勤修します。

人と比べて、どうして私はこんなこともできないのだろうと、自分を無価値に感じてしまうことはありませんか。奈良の薬師寺の高僧・高田好胤先生は「空（くう）」を「偏らない心、こだわらない心、とらわれない心」と説きました。人と比較して落ち込んでしまうときこそ、その3つの心を持つべき瞬間ではないかと思います。「自分はこうでなくちゃいけない」と理想に押し潰されそうになったら、立ち止まって考えてみてください。あなたの本当の価値は、人と比べて決まるものでしょうか。「空」とは自分の物差しを疑い、自分にとって本当に大事なものを見つける旅でもあるのです。

小笠原秀実先生という方の「般若心経意」という、禅宗的な般若心経の、とらわれない、こだわらない、空（くう）の心の自由さ、豊かさをうたった言葉を、最後に紹介したいと思います。

形あるものは すべてこわれてゆく  
花のように 人のように 樓閣のように  
されど形なきものは 虚空のように  
大空のように いつまでも こわれることを 知らない  
形ある すべてを棄てた心  
変りゆく すべてを離れた心  
それが 空（くう）の心である  
碧の大空のように  
空の心は限りもなく 涯もなく  
増えることもなく 減ることもない  
こわれゆくこの世のすべてを離れるが故に  
生きることにも迷わず  
つまづくことにも惑わず  
唯すべての畏れを離れる  
若葉にしたたる 日の滴が  
すべてを包み すべてを はぐくむように  
空（くう）の心は 何物をも許し  
何物をも育ててゆく  
それは限りなき楽しみであり  
無我の明さである  
朗らかなる空の心よ  
暖かく 滴たる空の光よ

（八木康徹『小笠原秀実・登』リプロポ  
ートより）

